

2024. 12. 25

<配信枚数2枚>

報道関係者 各位

SEMICON JAPAN 2024「アカデミア Award 2024」
金子健太郎教授/RARA フェローの研究室が優秀賞を受賞

立命館大学総合科学技術研究機構の金子健太郎教授/RARA フェロー^{※1}の研究室は、2024 年 12 月 11 日、SEMICON JAPAN 2024 において半導体関連の優れた研究を行う研究室を表彰する「アカデミア Award 2024」の優秀賞を受賞しました。2022 年から創設されたアカデミア Award における受賞は、立命館大学では初めてとなります。



「右から服部太政さん、大塚知紀さん、金子健太郎教授/RARA フェロー、木村航介さん、藤田健斗さん。
授賞式が行われたパレスホテル東京にて撮影」

アカデミア Award とは、日本最大の半導体産業展示会・会議である SEMICON Japan に出展する大学・高等専門学校の研究室を対象とし、半導体関連の優れた研究を行う研究室を表彰する賞です。今年で 3 回目の開催となり、日本全国の半導体関連研究室より 80 研究室が参加し、その中で過去最多となる 36 研究室から応募がありました。この中から 2 次審査に進出した 8 研究室が SEMICON Japan 内のステージでプレゼンテーションを行い、「革新性・発明力」「市場性」「技術パートナー・ネットワーク構築力」「表現力・プレゼンテーション」「次世代育成力・チーム力」の 5 項目で審査されました。受賞した上位 3 研究室のみ SEMICON Japan 2024 GALA の授賞式に参加する事が出来ます。

【金子健太郎教授/RARA フェローのコメント】

この度は大変名誉ある賞を頂き誠にありがとうございます。当研究室の教育研究活動が SEMICON Japan 様より高く評価され、本学初の受賞に至った事は大変嬉しく思います。また、2 次審査に進んだ研究室のうち、受賞した上位 3 研究室のみが GALA の授賞式に出席出来るという大変緊張感のある審査の中、受賞出来た事に安堵しております。当日の各大学研究室のプレゼンテーションは大変レベルが高く、その中で受賞できた事は大きな自信となりました。これもひとえに研究室メンバーの日頃の頑張りのお陰だと思っております。当日のプレゼンテーション会場には、当研究室が共同研究などでお世話になっている多くの企業様が応援団として駆けつけて下さり、大きなパワーを頂きました。あらためて、当研究室が多くの方々に支えられている事を実感しました。

みなさまありがとうございました。

本リリースの配布先： 京都大学記者クラブ、草津市政記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学広報課 担当：勝屋 TEL.075-813-8300 Email. r-koho@st.ritsumeai.ac.jp

別紙

※1:RARA フェロー

立命館大学では、2030 年に向けた立命館の学園ビジョン R2030「挑戦をもっと自由に」のもと、次世代研究大学の実現に向けて歩みを進めています。この大志を現実のものとし、未来社会に新しい価値をもたらすべく、2021 年、立命館大学のさらなる研究高度化を牽引する仕掛けとして立命館先進研究アカデミー(RARA)を設立しました。

RARA は博士後期課程から本大学の中核研究者にいたるまで、それぞれのキャリアステージに合わせた重点的かつ、オーダーメイドな支援を特徴としており、そのフロントランナーとなる「RARA フェロー」の教授陣を任命、重点的な研究環境の整備を図っています。

これまで 22 名の RARA フェローが未来を切り開く先進的研究者として、「志」「共創」「変革」「信頼」という 4 つの行動指針のもと、学内外の多様な研究者を繋ぐ Nodes(結合点)となるべく、研究活動と成果発信を進めています。

※2：金子健太郎教授/RARA フェローの研究室

研究タイトル： 「酸化物半導体を用いた多様な素子開拓」

研究室紹介： 当研究室はフォトリソグラフィ、燃料電池、水素生成、パワー半導体などに応用する新しい酸化物の開発や新規応用開拓を得意とし、研究室発のオリジナル研究を最重要視している。現在 6 社のメーカー企業と研究開発を行っているが、学生は 1～2 人で 1 社を担当し、学生の主体的な企業との共同研究活動を教育上重視している。また、これまで 2 つの半導体スタートアップが当研究室およびこれまでの研究開発から誕生しており、積極的な起業活動も行っている。